

このまちで自分らしく働く まちを元気にする仕掛け人 in小平 こんにちわ!

第2回 メンズヤマグチ 山口忠行さん

小平市学園東町 1-15-4  
042-345-2679



学園坂商店街の北側にある山口洋品店の店主山口さんは、商店街の「顔」的存在。まちになくてはならない仕掛け人、山口さんの商店街に対する想いを伺ってきました。

「大切なのは、希望とポリシーを持つことよ」  
山口さんは昭和19年長崎生まれ。  
お父さんの弟が東京で繊維メーカーを営んでいたこともあり上京、洋品店で17年修行をした後、ここ学園坂商店街でお店をだしました。  
商売に必要なのは、「希望とポリシーを持つこと」と山口さん。

17年間の修行の間、コツコツとお金を貯められたのも、「将来自分の店を持ちたい」という希望があったから。同業者が、安い外国産の洋服を仕入れてどんどんつぶれていく中、ちゃんと生き残ることができたのは「いいものは高くても売れる」というポリシーを曲げなかったから。

「ポリシーがぶれるとダメ。」と山口さんは言います。高くてもいいものを出せばお客様は来てくれる。来てくれたお客様は大切にします。そんな気持ちで日々接客。この姿勢は、ご自身の店だけではなく、商店街そのものに対する姿勢ともなっています。

「商店街は、ひとつの家族です」  
山口さんは学園坂商店街にお店を出して以来、30年もの長きにわたり、学園坂商店街の役員として、活力のある商店街作りに力を注いできました。一番大事な

ことを伺うと「商店街は、バラバラじゃダメ。ひとつの家族と思ってやらなくちゃ。」とのこと。「おせっかいの山ちゃん」と言われようと困ったときはお互い様。手を差し伸べあって、仲良くやるのが大切。その言葉どおり、山口さんの商店街での活躍は、なかなかのもの。自分の店の前にあるレンタルボックス学園坂は、企画段階からかかわってきたこともあり、気になってしかたがない孫のような存在。看板は木彫りで製作。ネオンも取り付け、内装もチェック。棚を作ったり、配置を考えたりして、商品が少しでも売れるよう尽力しています。また、ここだけではなく、街のいたるところに、山口さんの創作物はあります。街灯の上からはみ出しているネオンもそうですし、商店街の高い位置にある鉢植えの花がいつも元気なのは、山口さんお手製のペットボトルで作った「高いところの水やり器」のおかげ。いつまでも元気な商店街であってほしいな。そんな思いで、今日も山口さんは商店街を見つめています。

Report by 陽



山口さん手作りのBOXショップ看板  
「一日中、かかっちゃったよ。」

**INFORMATION**

コミュニティビジネス、NPO関連の旬の情報をお届けします!

【補助金】募集期間：2008年3月末～11月  
毎月末締切として受付け、翌月末日までに交付決定

**新エネルギー・省エネルギー非営利活動促進事業 補助金**

NPO 民間団体等が、営利を目的とせずに新エネルギー等の導入・省エネルギー普及の促進に資する普及啓発を行う事業に対して、その活動の加速的促進を図るため、必要な経費の1/2以内を補助するものです。

応募方法は問い合わせ NEDO技術開発機構エネルギー対策推進部 地域エネルギーグループ (044-520-5184)

【講座】日程：2008年4月12日～5月24日 各土曜日

**コミュニティビジネスアドバイザー・コーディネーター認定講座**

コミュニティビジネスを支援する専門知識を体系的に学ぶ講座。講座+実技で実践力を養うことを目指した内容です。

詳細・申込み NPO法人コミュニティビジネスサポートセンター  
<http://www.cb-s.net/koza.html> (03 5259 8091)

編集後記

**マイスタイル的のぞき穴**



春は別れと出のいの季節ですね この季節になると話題になるのが「卒業ソング」! K1年さまさまなアーティストの方が胸にkくる曲を送り出してくれますが、私がいつも思い出すのは H2O の「思い出がいっぱい」(作詞：阿木燿子) だったり。

自Za車をこいでいる時などは、あたまの中をエンドレスでこのメロディが鳴り響いております~~。って、この曲がvz表されたのが1983年で四半世紀前という現iy。

ああ、昭和も遠くなりけり。

律